

『信州道の駅交流会 設立総会』来賓あいさつ要旨

◇長野県 阿部知事

- ・「信州道の駅交流会」設立総会にあたり、長野県を代表してご挨拶申し上げます。
- ・道の駅関係の皆様には日頃から地域の活性化、観光の振興、物産の販売など多くの分野で長野県の発展に多大なご貢献をいただいていること、心よりありがとうございます。
- ・また、新型コロナウイルス対応では感染防止対策に様々なご協力をいただいていることに重ねて御礼を申し上げます。
- ・今、全国では感染者が多い状況にあります。長野県も11月に入って、これまでの第1波、第2波に比べて感染者が増えている状況です。引き続き道の駅の皆様のご協力も頂きながら、何とか感染者が増えないように取り組んでいきますので、ご協力とご支援をお願いしたいと思っております。
- ・「道の駅」については、当初のいわゆる休憩施設としての位置付けから、皆様方の努力と創意工夫によって、地域や長野県にとってなくてはならない存在になったと思っています。今や「道の駅」を目的に長野県にお越しになられるといった方もいらっしゃる状況で、県としても皆様方の取り組みと力を合わせて、更に道の駅がそれぞれの地域振興の核として発展していただけるように、更には長野県の観光、物産、交流の拠点となるように取り組んでいきたいと思っています。また、子育てや防災といったいろいろな機能を担っていただく中で、我々行政も皆様方とのパートナーとして、道路担当の建設部だけでなく、農政部、観光部、危機管理部など、いろいろな部局で連携を取らせていただきたいと思います。
- ・そのような中、今日このような形で県内の道の駅が一堂に会し、

一体となった取組をスタートされることは、大変意義深いことだと思っていますし、私としても大歓迎でございます。

- ・この交流会の取組が、それぞれの道の駅の更なる発展に資する活動となりますこと、そして皆さんの活動のおかげで長野県の観光、物産、地域の振興がより一層図られていくことを心から期待しています。県としても全庁をあげて、皆さんと連携を取って取り組んでいきたいと思っておりますので、どうかよろしく願います。
- ・結びに今日ご参加の皆様方の益々のご活躍とご健勝、そしてそれぞれの道の駅の商売繁盛、そして多くの皆様方がお越しいただくことを心から願って、挨拶とさせていただきます。
- ・私も皆さんの道の駅を利用させていただきますので、よろしく願います。

◇関東地方整備局 長野国道事務所 永江所長

- ・長野県内では国道の管理をしておりますのが、関東地方整備局の長野国道事務所と中部地方整備局の飯田国道事務所の 2 つがあります。私から代表してあいさつさせていただきます。
- ・本日は、信州道の駅交流会設立総会の開催、心よりお祝い申し上げます。また、平素より国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。
- ・道の駅は平成5年に制度を設立して以来27年が経過しております。今年の7月に新たに7つの駅が登録され、現在までに1,180駅が登録されています。
- ・設立当初の道の駅は休憩機能や情報発信機能、道の駅をきっかけとした地域の連携機能が主な役割でした。近年は特産品の販売拠点、観光拠点、防災機能などの役割を担い、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段だと期待されています。

- ・ 2020年からは道の駅「第3ステージ」として、2025年に目指すべき3つの姿として、道の駅を世界ブランドへ、更に防災道の駅などの姿が示されたところでございます。
- ・ 本日、全国で3番目に多い52の道の駅が一体となりまして、信州道の駅交流会の取り組みを始められることは、国として道の駅の施策を進めていくうえでも非常に有意義なことだと考えております。国としても長野県とともに皆様と連携をさせていただきまして、本取り組みを支援して参りたいと考えているところでございます。
- ・ 結びに、信州道の駅交流会、県内の道の駅各位の益々のご発展と、本日ご臨席の皆様の一層のご健勝を祈念しまして、あいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。